

福祉環境委員会 実地視察報告

6月17日（水曜）、福祉環境委員会が「KOBE 里山自然共生センター」及び周辺棚田を視察しました。

「KOBE 里山自然共生センター」は、自然共生サイト※に認定された北区山田町の小河山林及び周辺棚田において、市民団体等による管理・保全活動や来訪者の見学・体験イベントの拠点施設として、昨年11月に開設されたものです。

当日は、神戸産の木材を活用した円型の外観が特徴的な建物内において、環境局より自然共生サイトの概要説明を受けたのち、「神戸トイレカー」や棚田の現地視察を行いました。

「神戸トイレカー」は、平時においてはセンターでの活動や関連イベント等で活用されるとともに、災害時には、避難所等で仮設トイレとして使用されるほか、他都市での災害発生時には、被災地への派遣も想定されています。なお、オストメイト対応設備や、車いすの方でも乗り降りしやすい電動式昇降ステップも装備されており、実際に乗車してその機能を体験しました。

また、棚田では、減農薬・有機肥料による稲作に取り組む関係者から、「伝統的な里山管理を適切に継続することが、生物多様性の保全には欠かせない」とのお話を伺い、里山保全活動と生物多様性保全の重要性をあらためて認識する機会となりました。

※市民、企業、団体、自治体等によって生物多様性が保全されている区域を環境省が認定する仕組み

